

経営比較分析表（令和元年度決算）

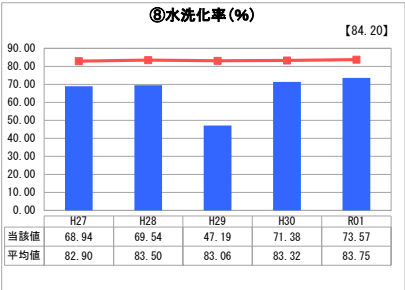
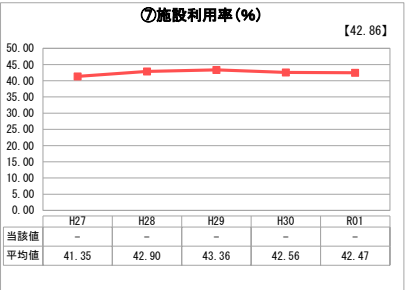
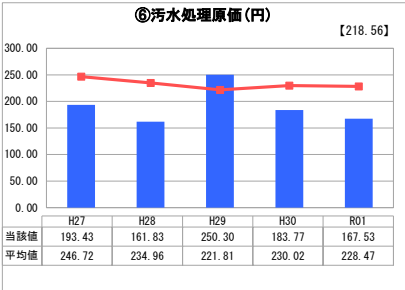
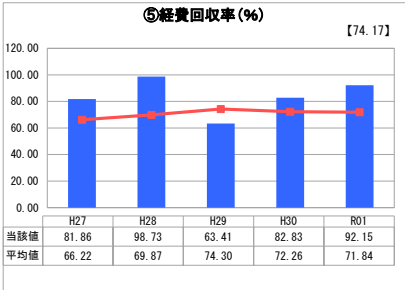
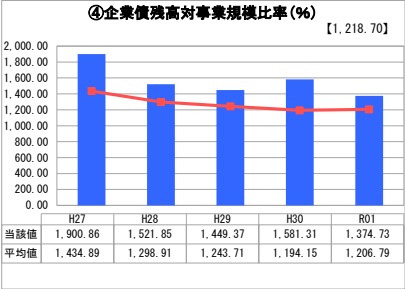
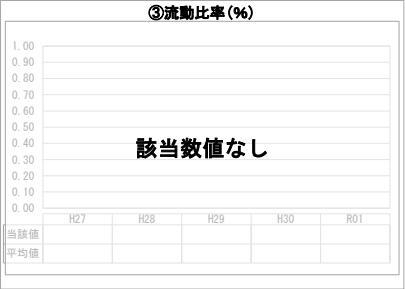
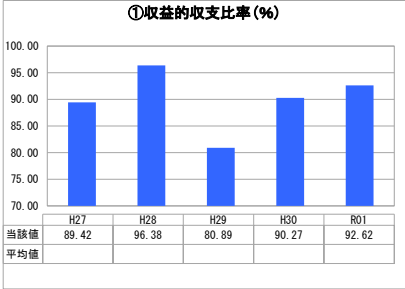
千葉県 印西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
1.40	該当数値なし	1.46	83.02	2,178

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
103,513	123.79	836.20
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,517	1.08	1,404.63

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率について
収益の収支比率は100%を下回っており、単年度収支は赤字となっている。

④企業債残高対事業規模比率について
企業債残高対事業規模比率は、H27から類似団体及び全国平均値を上回り、赤字の状況から公費負担に頼る部分は多い。地方債残高は減少傾向にあることから接続率の向上に努め、使用料収入の増加を図っていく。

⑤経費回収率について
経費回収率は100%を下回り、下水道使用料のみで汚水処理費を賄えていない状況である。

⑥汚水処理原価について
汚水処理原価は類似団体及び全国平均値に比べ低いものの、高い数値となっている。地理的要因等からも汚水処理費が高くなっていることから、接続率の向上に努め有収水量の増加を図っていく。

⑧水洗化率について
水洗化率は、類似団体及び全国平均値と比較しても低い数値となっており、引き続き接続率の向上に努めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率について
管渠改善率は、類似団体及び全国平均値を下回っている。平成5年に供用を開始していることから、将来発生する更新投資等に対応するための計画的な経営が必要である。

全体総括

印西市の特定環境保全公共下水道は公共衛生の向上及び手賀沼・印旛沼の水質改善を目的に進められており、地理的な要因等から維持コストも多額となり、収支は継続的な赤字となっている。接続率の向上により使用料収入の確保を図るとともに、健全な経営と公衆衛生及び水質改善の目的達成とのバランスを図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。